(事後評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道27号 金山バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政	文策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況): 2519万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 275万人・時間/年(6641万人・時間/年⇒6366万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について: (県)敦賀美浜線(県)津内櫛林線(市)清水松陵線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間: 305万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率: 9割削減
		〇 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
		〇 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	
		● 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	福井鉄道パス(並行する敦賀美浜線を運行) (混雑度:1.55→0.81、自動車交通量:21,421台/日→11,821台/日)
		● 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	美浜町~JR敦賀駅 (所要時間: 33.3分⇒23.3分)
		〇 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	
	物流効率化の支 援	● 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	美浜町~敦賀港(所要時間: 40.4分⇒25.6分)
		● 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	美浜町、若狭町、主な出荷先:敦賀市(敦賀市公設地方卸売市場、福井県漁業組合連合会敦賀支所)(所要時間:33.3分⇒24.0分)
		□ 現道等における総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	

변 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전	都市の再生	○ 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
		〇 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	
日		〇 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
□ 10回送場のお用い油運送が作るも、市出地の製用が回渡運輸産が利上 □ 対象回路が多数を開いてあり、市出地の製用が出てまる。 □ 対象回路が多数を開いてあり、大規模であり、方性をできた関係の200円以上及は16回以上、大概的においては100戸 □ 法規格が開かれて製造器が開発して、利益を関いる。 □ 法規格が開かれて製造器が開発した。日本の開発を開かて表現であり。 □ 地域を受けられて製造器が開発した日本の製造機が開発した。日本の開発を構成する。 ■ 出版機が開発した日本の製造機が展れて、対象の関係では関する。 □ 地域では対象を関係のである。 □ 出版機が開発した日本の製造機が開発した日本の製造機が開発した。日本の影響が発展した。日本の影響が発展した。日本の影響が発展した。日本の影響が発展した。日本の影響が発展した。日本の影響が発展した。日本の影響が表して、日		〇 中心市街地内で行われたことによる効果	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
17		□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸 以上又は5ha以上)への連絡道路となった	
□ 当該務盤が新たに発点部所限を素限格幹報道路で連絡するルートを構成する 教資布・小浜市 (所要時間: 68 2分) □ 財政務盤が開推した日常活動圏の心部市部を無短時間で連絡する辞録を構成する 教資布・小浜市 (所要時間: 68 2分) □ 環境における交流不能区間が解消 □ 規連等における交流不能区間が解消 □ 財政者の中心都市へのアクセス向上の収収 □ 共高数額の中心都市へのアクセス向上の収収 □ 株式で河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 株式で河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 株式で河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 株式で河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 株式を河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 株式を河川等により一体的発度が開きされていた地区の一体的発度への寄与の収収 ○ 財務等値の公共公益指数と返前されたことによる効果 ○ 歴史が表現を活かした道路を指からなどによる効果 ○ 歴史が表現を活かした道路を操作の中心向区間のシンボル的公道路を構築、特色あるまちづくりに変する事業としての効果 ○ 財務等値の公共公益指数と返前されたことによる効果 ○ 歴史が表現を活かした道路を操作中心向区間のシンボル的公道路を構築、特色あるまちづくりに変する事業としての効果 ○ 財務等値の公共公益指数と返前されたことによる当該区間の多行者・自転車の通行の検証・安全性向上の収収 □ 大きののの表現で表現を対象と描から上が通路を開からまれたの検証・安全性向上の収収 □ 対象に対しております。 日転車利用空間が等着されたことによる当該区間の多行者・自転車の通行の検証・安全性向上の収収 □ 対象に対しては実施を開から、安全性向上の収収 □ 対象区間がで維持地中化のシャ本計画に位置づけるり □ 市政権又又選定と関連を開発を対象と可能が重定を持ち始め、等の幹額道路において数でたど乗車を表で表ので	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけあり	
■ 当該遊館が期接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する 数質布~小浜市 (所要時間: 68.2分) □ 現選率における交通不程区間が解消 □ 収済率における交通不程区間が解消 ● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況 ● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況 ● 政治を与問期でより、中体的発展が関策されていた地区の一体的発展への寄与の状況 ○ 処益開発プロジェクト、地域連貫プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果 ● 主要な疑光地へのアクセス向上による効果 ● 主要な疑光地へのアクセス向上による効果 ○ 新規整備の大共公主施設と直絡されたことによる効果 ○ 新規整備の大共公主施設と直絡されたことによる効果 ○ 可規整備が大力の立き活躍 ○ 医皮の素素を活かした道路登積中心の高度等のシンボル的な道路登積等、特色あるまちづくりに費する事業としての効果 ○ 可規整備が大力に適路登積中心の高度等のシンボル的な道路登積等、特色あるまちづくりに費する事業としての効果 ○ 日報利用を関が整備されたことによる当該区間のか行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 ○ 対象を関いては、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本で		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
□ 現選等における交通不能区間が解消 □ 現選等における交通不能区間が解消 □ 明選等における交通不能区間が解消 ■ 日常元動画の中心都市へのアクセス向上の状況 ■ 自発元動画の中心都市へのアクセス向上の状況 ■ 放送や河川等により一体的発展が囲客されていた地区の一体的発展への客与の状況 □ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規様イベントの支援に関する効果 ■ 主要な観光地へのアクセス向上による効果 ■ 主要な観光地へのアクセス向上による効果 □ 幹別立法に基づく事業としての効果 □ 幹別が上述 基づく事業としての効果 □ 財務整備の公共公益施設と直接されたことによる効果 □ 歴史的景報を活かした返路登機や中心局店物のシャボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに対する事業としての効果 □ 企業の発表であたとことによる当場区間の参行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 □ 文連パリアフリー法に基づく事金整備地区における特定を形成する区間が新たにパリアフリー化された ■ 要認用ではよる □ 対象区間が電機接地中化5ヶ年計画に位置づけあり □ 市番地なに歴史書数地版(歴史的風土特別保存区域及び事業伝統的速造物保存地区)等の幹幹道路において新たに開電性化を達成 ■ 本語をな任理主要数地版(歴史的風土特別保存区域及び事業伝統的速造物保存地区)等の幹幹道路において新たに無電性化を達成		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
□ 飛送等における大型車のすれ遠い国難区間が解消 ■ 日常活動艦の中心都市へのアクセス向上の状況 ○ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への音与の状況 ○ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への音与の状況 ○ 鉄道・大型のアクセス向上による効果 ■ 主要な観光地へのアクセス向上による効果 ○ 特別立法に基づく事業としての効果 ○ 新規整備の公共公益施設と直轄されたことによる効果 ○ 新規整備の公共公益施設と直轄されたことによる効果 ○ 配業料料空間が整備されたことによる効果 ○ 回転率利用空間が整備されたことによる過速区側の歩行者・自転率の通行の快速・安全性向上の状況 □ 火道バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された ■配理化による 戻しい可認力の □ 火道バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された ■配理化による 戻しい可認力の □ 水道区が受給が電積影性中化ちヶ年計画に位置づけあり □ 市泊地区は歴史景報地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹額道路において新たに無電性化を達成。		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	敦賀市~小浜市(所要時間:68.2分)
● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況		□ 現道等における交通不能区間が解消	
回性ある地域の		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	
● 主要な観光地へのアクセス向上による効果 気比神宮(年間観光客入り込み数:593千人/年 H17年-721千人/年 H30年) ● 主要な観光地へのアクセス向上による効果 気比神宮(年間観光客入り込み数:593千人/年 H17年-721千人/年 H30年) ○ 特別立法に基づく事業としての効果 ○ 飯皮的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業と □ 日転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 □ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された ■査証化による 美しい町並みの Big □ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり Big □ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新 「たに無電柱化を追放		● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	美浜町~敦賀市(所要時間:34.1分⇒18.2分)
● 主要な観光地へのアクセス向上による効果	個性ある地域の 形成	○ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	
○ 特別立法に基づく事業としての効果 ○ 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果 ○ 歴史的景製を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果 ○ 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 □ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された 無電柱化による 美しい町並みの ○ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり □ 市街地又は歴史景製地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成		○ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	
○ 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果 ○ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果 ○ 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況 □ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された ■電柱化による 美しい町並みの B成 □ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり □ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成 安全で安心でき		● 主要な観光地へのアクセス向上による効果	氣比神宮 (年間観光客入り込み数:593干人/年 H17年→721千人/年 H30年)
□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果 □ 自転車 のための生活空 間の形成 □ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された □ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり □ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり □ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電社化を達成		○ 特別立法に基づく事業としての効果	
歩行者・自転車 かための生活空間の形成 □ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された (主) 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり (主) 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり (主) 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり (主) 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり (主) 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり		○ 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	
かための生活空		O 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業と しての効果	
無電柱化による 美しい町並みの 形成 □ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり 下街地又は歴史景観地区 (歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	〇 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
美しい町並みの 形成		□ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された	
安全で安心でき	無電柱化による 美しい町並みの 形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新 たに無電柱化を達成	
	安全で安心でき るくらしの確保	〇 三次医療施設へのアクセス向上の状況	

3. 安全	安全な生活環境の確保	● 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	県道敦賀美浜線(県道225号敦賀美浜線 (旧国道27号)の県道33号線との交差点~佐田ランプ):死傷事故率(81.5件/億台キロ⇒28.1件/億台キロ)、自動車交通量(21,421台/日⇒12,804台/日)
		〇 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	一般道敦賀美浜線、主要地方道佐田竹波敦賀線(敦賀市白銀町~美浜町佐田間)
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯として機能	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	C02排出削減量:8440.53t-C02/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等):(県)敦賀美浜線 (県)津内櫛林線 (市)清水松陵線 排出削減量:71.61七/年、排出削減率:8割削減 (パイパス事業の場合)パイパス等についてMOX排出増加量:48.96t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等):(県)敦賀美浜線 (県)津内櫛林線 (市)清水松陵線 排出削減量:4.19t/年、排出削減率:8割削減 (パイパス事業の場合) パイパス等についてSPM排出増加量:2.79t/年
		〇 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	
		〇 その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		● 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	舞鶴若狭自動車道(若狭美浜IC~敦賀JCT)
		● 他機関との連携プログラムに関する効果	道路の中期計画 (近畿地方版) (暮らしと交流を支える、交通渋滞を解消する) 敦賀市総合計画 (敦賀港へのアクセス網の整備)
		〇 その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

(事後評価)

費用便益分析の結果

様式-2

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P ・ その他の別
一般国道27号	金山バイパス	∟=7.5km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
23, 600	4車線	近畿地方整備局

①費用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年			
単純合計	374億円	176億円	550億円
基準年における 現在価値 (C)	1, 101億円	92億円	1, 193億円

② 便 益

<u> </u>					
	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年	令和1年度				
供用年	平成27年度				
単年便益 (初年便益)	82億円	3.0億円	0.99億円	86億円	
基準年における 現在価値(B)	1, 991億円	72億円	24億円	2, 087億円	

③ 結 果

費用便益比(B/C)	1. 7
経済的純現在価値(B-C)	894億円
経済的内部収益率(EIRR)	5. 5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

様式-3①

事業名:金山バイパス(事業全体)

(推計時点 令和12年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量 ^{※1}	[台/日]	0	23, 600
	改築道路 5km)	走行時間※2	[分]	0	14
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	65. 97
	(県)敦賀美	交通量	[台/日]	17, 200	6, 100
	浜線	走行時間	[分]	33	21
	(11. 0km)	走行時間費用	[億円/年]	114. 61	26. 34
	(県)津内櫛	交通量	[台/日]	18, 600	4, 500
	林線	走行時間	[分]	9	6
	(3. 0km)	走行時間費用	[億円/年]	31. 81	4. 21
–	(市)清水松 陵線	交通量	[台/日]	7, 400	3, 500
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]	5	4
	(1.9km)	走行時間費用	[億円/年]	5. 83	2. 16
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	道路合計 5.5km)	走行時間費用	[億円/年]	5, 134. 21	5, 108. 80

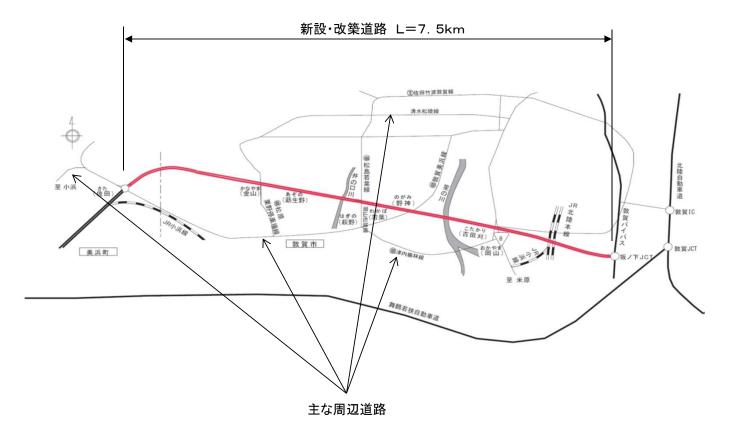
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:2,918.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5, 286. 47	5, 207. 47	79. 00

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名:金山バイパス

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	_
	算出マニュアル	(平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	-
		その他	
		分析対象期間	50年間
5.	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	令和1年
	交通流の	1時点のみ推計	■(令和12年)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	在即 071人》	いずれかのみの推計とした理由を記載の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	■ (H22全国道路·街路
	推計に用いた	(三段階推定法)	交通情勢調査)
	Marichus OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
		(四段階推定法)	
		その他()	
交		無	
通	開発交通量の 考慮	有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推計	5	有の場合のみ考慮した理由を記載	
		Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
	配分交通量の	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他()	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		との他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	■
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	-
		して設定	
		採用理由を記載	
	速度設定の		
	考え方		■
		取べ	 適用に併せて、最終速
		度を採用。	
		その他()	

	,		項目	チェック欄							
		考慮しない	The state of the s								
	ļ	考慮する									
	ļ	う思する	面的に考慮								
	休日交通の		対象路線のみ考慮								
	影響	考慮する	採用した休日係数	() %							
	ļ	場合のみ	休用した 休日 休奴 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載								
		考慮しない									
		考慮する	<u> </u>								
		方思する	採用した通行止め日数	() 目							
	災害等による			L/							
	通行止めの	考慮する									
	影響	考慮する 場合のみ	とはためな通太老虐する	П							
	ļ		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその	」							
		考慮しない									
		考慮する									
	ļ	う思する		()日							
	冬期交通の 影響	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	<u> </u>							
ı											
便益											
の			会別の足りを反と文庫台重の関係 設定の考え方を記載								
の算定											
定	 交通流推計の	ブロック別・耳	ューロップ 1 ■種別走行台キロの伸び率による設定								
	時点以外の	その他		_							
	便益の算定	(
		費用便益分									
	車種別時間	独自に設定し									
	価値原単位										
		費用便益分									
	車種別走行	独自に設定し									
	経費原単位										
	交通事故減少	中央分離帯の									
	便益算定	中央分離帯の									
	走行時間短縮·走	考慮しない									
	行経費減少·交通	考慮する									
	事故減少以外の便	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)									
	益										
	その他										

事業名:金山バイパス

(4)

			項目	チェック欄							
		詳細事業計画									
	事業費	標準投資パタ									
費		その他(
用	維持管理費	維持管理費の認									
の		既存の路線の実績を参考に設定									
算	雪寒費	積雪地域また									
定		考慮しない									
		考慮する									
	いことが 内 転 仕上に		事業費を考慮								
	当該道路整備が 行われない場合	考慮する 場合のみ	維持管理費を考慮								
	の費用		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え	方を記載(対策内容、費用							
	その他										
4.	その他										

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:一般国道27号 金山バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

					0.51	7.5	3.8
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	
<u>年次</u> −43年目	年度 S 47	6.3178	デフレータ 51.8	単純価値 0.07	現在価値 0.88	単純価値	現在価値
	S 47 S 48	6.0748	59.6	0.07	0.88		
-41年目	S 49	5.8412	71.1	0.12	1.02		
-40年目	S 50	5.6165	75.2	0.40	3.08		
-39年目	S 51	5.4005	81.5	0.40	2.73		
-38年目	S 52	5.1928	86.4	0.10	0.62		
37年目 -36年目	S 53 S 54	4.9931 4.8010	90.0 92.4	4.95 9.00	28.27 48.17		
-35年目	S 55	4.6164	98.2	14.27	69.07		
-34年目	S 56	4.4388	100.7	14.50	65.80		
-33年目	S 57	4.2681	101.9	13.30	57.39		
-32年目	S 58	4.1039	102.9	11.10	45.60		
-31年目	S 59	3.9461	105.0	14.20	54.99		
-30年目	S 60	3.7943	105.7	21.05	77.80		
<u>−29年目</u> −28年目	S 61 S 62	3.6484 3.5081	107.6	15.48 16.30	54.08 54.87		
-27年目	S 63	3.3731	107.3 107.9	20.35	65.52		
-26年目	H 1	3.2434	110.8	17.63	53.17		
-25年目	H 2	3.1187	113.3	18.17	51.54		
-24年目	H 3	2.9987	116.0	27.50	73.22		
-23年目	H 4	2.8834	117.6	43.92	110.93		
-22年目	H 5	2.7725	117.9	7.08	17.14		
<u>−21年目</u> −20年目	H 6	2.6658	117.8 117.1	0.58	1.36 29.98		
	H 8	2.5633 2.4647	116.6	13.30 5.61	12.22		
-18年目	п о Н 9	2.3699	117.5	0.11	0.24		
-17年目	H 10	2.2788	116.9	0.40	0.80		
-16年目	H 11	2.1911	115.2	0.16	0.32		
-15年目	H 12	2.1068	113.8	1.38	2.63		
-14年目	H 13	2.0258	112.4	13.14	24.40		
	H 14	1.9479	110.5	5.34	9.70		
<u>−12年目</u> −11年目	H 15 H 16	1.8730 1.8009	109.0 107.9	1.58 0.38	2.80 0.65		
-11年日 -10年目	H 17	1.7317	107.9	0.38	0.05		
	H 18	1.6651	105.9	1.58	2.56		
-8年目	H 19	1.6010	105.0	2.66	4.17		
-7年目	H 20	1.5395	104.4	9.94	15.10		
-6年目	H 21	1.4802	103.0	16.31	24.15		
-5年目	H 22	1.4233	101.3	18.76	27.15		
<u>−4年目</u> −3年目	H 23 H 24	1.3686 1.3159	99.8 99.0	3.77 1.90	5.33 2.59		
	H 25	1.2653	99.0	2.76	3.64		
<u> 1</u> 年目	H 26	1.2167	101.5	4.71	5.82		
供用開始年次	H 27	1.1699	103.0			3.57	4.
1年目	H 28	1.1249	102.8			3.57	4.0
2年目	H 29	1.0816	103.0			3.57	3.8
3年目	H 30	1.0400	103.0			3.57	3.
4年目 5年目	R 1	1.0000 0.9615	103.0 103.0			3.57 3.51	3.
5年日 6年目	R 3	0.9815	103.0			3.51	3.4
7年目	R 4	0.8890	103.0			3.51	3.
8年目	R 5	0.8548	103.0			3.51	3.0
9年目	R 6	0.8219	103.0			3.51	2.8
10年目	R 7	0.7903	103.0			3.51	2.
11年目	R 8	0.7599	103.0			3.51	2.0
12年目 13年目	R 9	0.7307	103.0			3.51	2.
	R 10	0.7026 0.6756	103.0 103.0			3.51 3.51	2.
15年目	R 12	0.6496	103.0			3.51	2.5
16年目	R 13	0.6246	103.0			3.51	2.
17年目	R 14	0.6006	103.0			3.51	2.
18年目	R 15	0.5775	103.0			3.51	2.0
19年目	R 16	0.5553	103.0			3.51	1.3
20年目	R 17	0.5339	103.0			3.51	1.3
<u>21年目</u> 22年目	R 18	0.5134 0.4936	103.0 103.0			3.51 3.51	1.8
23年目	R 20	0.4746	103.0			3.51	1.0
24年目	R 21	0.4564	103.0			3.51	1.0
25年目	R 22	0.4388	103.0			3.51	1.5
26年目	R 23	0.4220	103.0			3.51	1.4
27年目	R 24	0.4057	103.0			3.51	1.4
28年目 29年目	R 25	0.3901	103.0 103.0			3.51 3.51	1.3 1.3
30年目	R 27	0.3607	103.0			3.51	1.3
31年目	R 28	0.3468	103.0			3.51	1.3
32年目	R 29	0.3335	103.0			3.51	1.
33年目	R 30	0.3207	103.0			3.51	1.
34年目	R 31	0.3083	103.0			3.51	1.0
35年目 36年目	R 32 R 33	0.2965	103.0 103.0			3.51 3.51	1.0
36年日 37年目	R 33 R 34	0.2851 0.2741	103.0			3.51	0.9
3/年日 38年目	R 35	0.2636	103.0			3.51	0.9
39年目	R 36	0.2534	103.0			3.51	0.
40年目	R 37	0.2437	103.0			3.51	0.
41年目	R 38	0.2343	103.0			3.51	0.8
42年目	R 39	0.2253	103.0			3.51	0.
43年目	R 40	0.2166	103.0			3.51	0.
44年目 45年日	R 41 R 42	0.2083	103.0			3.51	0.
45年目 46年目	R 42 R 43	0.2003 0.1926	103.0 103.0			3.51 3.51	0.0
47年目	R 44	0.1852	103.0			3.51	0.0
48年目	R 45	0.1780	103.0			3.51	0.0
	R 46	0.1712	103.0	-63.46	-10.86	3.51	0.0
<u>49年目</u> 合 計	11	0.1712	100.0	310.92	1100.90	175.78	92.0

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。) 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式-5

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道27号 金山バイパス

便益の現1	生1四16	早足衣	(争耒)	王14)				箇所名:		号 金山バイ											
		************				GDP	走行時間便益					走行経費便益						事故減少便益		合計	
	年度				割引率	デフレータ		1	(億円)		70 / /	(億円)				(億円)		(億円)			
Æ \h	(基準年) D 1	垂田市郷	(近畿内陸		A #	(4)		赤田市籽	J. THI 15 H/m	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	垂甲毒物	ᄼᆘᄼᄑᆡᆟᅜᆉᇭ	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	(3)	現在価値	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
生力 供用開始年次	R 1 H 27	乗用車類 0.99307	小型貨物 0.98807	<u>百进貝彻</u> 1.00625	全 車 0.99382	(A) 1.1699	103.0	乗用車類 52.64	小型貨物 17.11	百进貝初 12.21	U	95.89	乗用車類 2.26	小型貨物 0.71	百进貝初 0.07	⊘ āT 3.04	3.56	0.99	③×(A)	86.00	100.61
D 47 12 17 12 7 11 7 4	H 28	0.99307	0.98807	1.00625	0.99382	1.1099	103.0	52.04	16.91	12.21	81.47	95.89	2.25	0.71	0.07	3.04	3.30	0.99	1.10	85.48	96.15
	H 29	0.99460	0.98937	1.00763	0.99692	1.0816	102.8	52.20	16.73	12.29	81.10	87.72	2.23	0.70	0.07	3.02	3.40	0.98	1.11	85.09	92.03
3年目	H 30	0.99694	0.99185	1.00968	0.99770	1.0400	103.0	51.80	16.58	12.49	80.87	84.10	2.23	0.69	0.08	2.99	3.11	0.98	1.02	84.83	88.23
4年目	R 1	0.99920	0.99407	1.01180	0.99996	1.0000	103.0	51.64	16.45	12.61	80.70	80.70	2.22	0.68	0.08	2.98	2.98	0.98	0.98	84.65	84.65
5年目	R 2	0.99915	0.98700	1.00675	0.99809	0.9615	103.0	51.60	16.35	12.76	80.71	77.60	2.22	0.68	0.08	2.97	2.86	0.98	0.94	84.65	81.39
	R 3	0.99915	0.98683	1.00671	0.99809	0.9246	103.0	51.55	16.14	12.85	80.54	74.46	2.22	0.67	0.08	2.96	2.74	0.97	0.90	84.47	78.10
7年目	R 4	0.99915	0.98665	1.00666	0.99808	0.8890	103.0	51.51	15.92	12.93	80.36	71.44	2.21	0.66	0.08	2.95	2.62	0.97	0.86	84.29	74.93
8年目	R 5	0.99915	0.98647	1.00662	0.99808	0.8548	103.0	51.46	15.71	13.02	80.19	68.55	2.21	0.65	0.08	2.94	2.51	0.97	0.83	84.11	71.89
9年目	R 6	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.8219	103.0	51.42	15.50	13.11	80.02	65.77	2.21	0.64	0.08	2.93	2.41	0.97	0.80	83.92	68.98
10年目	R 7	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7903	103.0	51.38	15.29	13.19	79.85	63.11	2.21	0.63	0.08	2.92	2.31	0.97	0.76	83.74	66.18
11年目	R 8	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7599	103.0	51.33	15.07	13.28	79.68	60.55	2.21	0.62	0.08	2.91	2.21	0.97	0.73	83.56	63.50
12年目	R 9	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7307	103.0	51.29	14.86	13.36	79.51	58.10	2.20	0.62	0.08	2.90	2.12	0.96	0.70	83.38	60.92
13年目	R 10	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.7026	103.0	51.24	14.65	13.45	79.34	55.75	2.20	0.61	0.08	2.89	2.03	0.96	0.68	83.19	58.45
14年目	R 11	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6756	103.0	51.20	14.43	13.54	79.17	53.49	2.20	0.60	0.08	2.88	1.95	0.96	0.65	83.01	56.08
15年目	R 12	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6496	103.0	51.16	14.22	13.62	79.00	51.32	2.20	0.59	0.08	2.87	1.86	0.96	0.62	82.83	53.81
16年目	R 13	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6246	103.0	50.75 50.33	14.09	13.60	78.43	48.99	2.18	0.58	0.08	2.85	1.78	0.95 0.94	0.59 0.57	82.23 81.63	51.36
17年目 18年目	R 14 R 15	0.99183 0.99177	0.99059 0.99050	0.99800	0.99254 0.99248	0.6006 0.5775	103.0 103.0	49.92	13.96 13.83	13.57 13.54	77.86 77.29	46.76 44.64	2.16 2.15	0.58 0.57	0.08	2.82 2.80	1.70 1.62	0.94	0.57	81.03	49.03 46.80
19年目	R 16	0.99177	0.99030	0.99799	0.99248	0.5773	103.0	49.92	13.70	13.54	76.72	42.60	2.13	0.57	0.08	2.80	1.54	0.94	0.54	80.43	44.66
20年目	R 17	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5339	103.0	49.10	13.70	13.49	76.15	40.66	2.13	0.57	0.08	2.75	1.47	0.92	0.32	79.83	42.62
21年目	R 18	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.5134	103.0	48.69	13.43	13.46	75.58	38.81	2.11	0.56	0.08	2.73	1.47	0.92	0.43	79.23	40.68
22年目	R 19	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4936	103.0	48.28	13.30	13.43	75.02	37.03	2.07	0.55	0.08	2.71	1.34	0.91	0.45	78.63	38.81
23年目	R 20	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4746	103.0	47.87	13.17	13.41	74.45	35.33	2.06	0.55	0.08	2.68	1.27	0.90	0.43	78.03	37.03
24年目	R 21	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4564	103.0	47.46	13.04	13.38	73.88	33.72	2.04	0.54	0.08	2.66	1,21	0.89	0.41	77.43	35.34
25年目	R 22	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4388	103.0	47.05	12.91	13.35	73.31	32.17	2.02	0.53	0.08	2.64	1.16	0.89	0.39	76.83	33.71
26年目	R 23	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4220	103.0	46.64	12.78	13.33	72.74	30.70	2.00	0.53	0.08	2.61	1.10	0.88	0.37	76.23	32.17
27年目	R 24	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.4057	103.0	46.22	12.65	13.30	72.17	29.28	1.99	0.52	0.08	2.59	1.05	0.87	0.35	75.63	30.68
28年目	R 25	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3901	103.0	45.81	12.51	13.27	71.60	27.93	1.97	0.52	0.08	2.57	1.00	0.87	0.34	75.03	29.27
29年目	R 26	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3751	103.0	45.40	12.38	13.24	71.03	26.64	1.95	0.51	0.08	2.54	0.95	0.86	0.32	74.43	27.92
30年目	R 27	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3607	103.0	44.99	12.25	13.22	70.46	25.41	1.93	0.51	0.08	2.52	0.91	0.85	0.31	73.83	26.63
31年目	R 28	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3468	103.0	44.58	12.12	13.19	69.89	24.24	1.92	0.50	0.08	2.50	0.87	0.85	0.29	73.23	25.40
32年目	R 29	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3335	103.0	44.17	11.99	13.16	69.32	23.12	1.90	0.50	0.08	2.47	0.83	0.84	0.28	72.63	24.22
33年目	R 30	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3207	103.0	43.76	11.86	13.14	68.75	22.05	1.88	0.49	0.08	2.45	0.79	0.83	0.27	72.03	23.10
34年目	R 31	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.3083	103.0	43.35	11.73	13.11	68.18	21.02	1.86	0.49	0.08	2.43	0.75	0.82	0.25	71.43	22.02
35年目	R 32	0.99043 0.99034	0.98867 0.98854	0.99793 0.99792	0.86410	0.2965	103.0	42.94 42.53	11.59 11.46	13.08 13.05	67.61 67.04	20.05 19.11	1.84	0.48 0.47	0.08	2.40 2.38	0.71	0.82 0.71	0.24 0.20	70.83	21.00
36年目 37年目	R 34	0.99034	0.98854	0.99792	0.99002 0.98992	0.2851 0.2741	103.0 103.0	42.53 42.11	11.46	13.05	66.47	18.22	1.83 1.81	0.47	0.08	2.38	0.68 0.65	0.71	0.20	70.13 69.53	19.99 19.06
38年目	R 35	0.99024	0.98840	0.99792	0.98992	0.2741	103.0	41.70	11.33	13.03	65.90	17.37	1.81	0.47	0.08	2.33	0.62	0.70	0.19	68.93	18.17
39年目	R 36	0.99014	0.98813	0.99791	0.98972	0.2534	103.0	41.70	11.20	12.97	65.33	16.56	1.79	0.46	0.08	2.33	0.62	0.69	0.18	68.33	17.31
40年目	R 37	0.98995	0.98798	0.99790	0.98961	0.2334	103.0	40.88	10.94	12.97	64.76	15.78	1.77	0.46	0.08	2.31	0.59	0.68	0.17	67.73	16.51
41年目	R 38	0.98984	0.98784	0.99790	0.98950	0.2343	103.0	40.47	10.81	12.92	64.19	15.04	1.74	0.45	0.08	2.27	0.53	0.67	0.17	67.13	15.73
42年目	R 39	0.98974	0.98769	0.99790	0.98939	0.2253	103.0	40.06	10.67	12.89	63.62	14.33	1.72	0.44	0.08	2.24	0.51	0.66	0.15	66.53	14.99
43年目	R 40	0.98963	0.98754	0.99789	0.98928	0.2166	103.0	39.65	10.54	12.86	63.05	13.66	1.70	0.44	0.08	2.22	0.48	0.66	0.14	65.93	14.28
	R 41	0.98953	0.98738	0.99789	0.98916	0.2083	103.0	39.24	10.41	12.84	62.49	13.02	1.69	0.43	0.08	2.20	0.46	0.65	0.14	65.33	13.61
45年目	R 42	0.98941	0.98722	0.99788	0.98904	0.2003	103.0	38.83	10.28	12.81	61.92	12.40	1.67	0.43	0.08	2.17	0.44	0.64	0.13	64.73	12.97
46年目	R 43	0.98930	0.98705	0.99788	0.98892	0.1926	103.0	38.42	10.15	12.78	61.35	11.82	1.65	0.42	0.08	2.15	0.41	0.64	0.12	64.13	12.35
47年目	R 44	0.98919	0.98688	0.99787	0.98879	0.1852	103.0	38.00	10.02	12.76	60.78	11.26	1.63	0.41	0.08	2.13	0.39	0.63	0.12	63.53	11.77
48年目	R 45	0.98907	0.98671	0.99787	0.98867	0.1780	103.0	37.59	9.89	12.73	60.21	10.72	1.62	0.41	0.08	2.10	0.37	0.62	0.11	62.93	11.20
49年目	R 46	0.98895	0.98653	0.99786	0.98854	0.1712	103.0	37.18	9.75	12.70	59.64	10.21	1.60	0.40	0.08	2.08	0.36	0.61	0.11	62.33	10.67
合 함	†							2,320.26	657.27	654.15	3,631.69	1,990.82	99.70	27.22	3.98	130.90	72.39	42.47	23.77	3,805.06	2,086.98